

# バリアフリームーブメント

Vol.44

「いざ」じゃないとき知る知識！  
「いざ」というとき引き出す知識！

バリアフリーな社会を生きるため、  
必要なことを先取りしよう！

## 「今回のテーマ」 目や耳の不自由な 子ども達も一緒に 遊べるおもちゃ

既存の製品をより多くの人が使いやすいようにしてくれるモノ、今まで使えなかったものを使いやすくなるためのモノ等、これからどんどん増えてくるバリアフリー化された製品や情報を紹介しているこのコーナー。  
今回は、「触っても楽しめるおもちゃ」を紹介する。

(森川 美和)

### 目の見えない子ども達が、触って楽しめる「トミカ」

トミカには人気のシリーズとして、「パトカー」「消防車」

「白バイ」などがある。目の見えない子どもは、実際に走っているクルマを見ることにはなれない。車体の形や色を認識することができると、目の見えない子どもが、説明だけを聞いてイメージすることは難しい。

「この位置にパトランプがついているのか？」「はじはこうなっているのか？」「バイクってこんな形」と興味を持って実際に走っているものを触ることができない。実物を触ることができない。実物を触ることができない。実物を触ることができない。

「動くクルマ」など続々と発売しており、常に120種類を揃えている。またモデルチェンジされたクルマにあわせ、トミカも新しいモデルを継続的に商品化している。で色々な時代の製品を集めるのも楽しい。



トミカ/価格：各378円(税込み) ©2006タカラトミー

現在通常のトミカは、実際の車をモデルにした「乗用車」「バス」「トラック」や、人気の

「動くクルマ」など続々と発売しており、常に120種類を揃えている。またモデルチェンジされたクルマにあわせ、トミカも新しいモデルを継続的に商品化している。で色々な時代の製品を集めるのも楽しい。

## 「手から伝わる形」あなたたかね 「シルバニアファミリー」

子どもたちの手にしゅわわとなじみ、あなたがさを感じ、シルバニアファミリーの人物は、1985年、株式会社エポック社（東京・台東区）が発売してから20年が経つが、子どもから大人まで長く親しまれているおもちゃだ。

シルバニアファミリーの人物は、「みるくウサギ」「クリームネコ」「キツネ」「くるみリス」などの10家族で構成されており、それぞれの動物の特徴を生かしている。触っただけでどの家族がわかることができる。またシルバニアファミリーの中心の家具や家本体、室内には、実際に忠実に再現されているため、遊びながら自然に「いつか

今年のクリスマスプレゼントは、目の見えない子ども、耳の聞こえない子ども、すべての子ども達が一緒に遊べるおもちゃが、松元へ届くことを祈っている。



■「シルバニアファミリー」のお問い合わせ先  
(株)エポック社お客様サービスセンター 〒300-4193 茨城県土浦市 藤沢 3647-5  
電話：029-862-5789  
電話受付時間：月～金(祝・祭日及び弊社特休日を除く) 10時～12時、13時～17時  
<http://www.epoch.gr.jp/> (エポック社web)  
<http://sylvanian-families.jp/> (シルバニアファミリー公式ページ)

(PR) 財団法人共用品推進機構 ☎03-5280-0020 / FAX03-5280-2373  
URL : <http://kyoyohin.org/> E-mail : [jimukyoku@kyoyohin.org](mailto:jimukyoku@kyoyohin.org)